

## 特別支援教育における ICF/ICF-CY 活用を支える手立ての検討

企画者	徳永亜希雄・松村勘由・金子健（国立特別支援教育総合研究所）
司会者	松村勘由
話題提供者	徳永亜希雄 松村勘由 金子健 溝端英二（和歌山県立紀伊コスモス支援学校） 二階堂悟（秋田県立秋田きらり支援学校）
指定討論者	齊藤博之（山形県立上山高等養護学校）

### 【企画の趣旨】

国立特別支援教育総合研究所(以下、同研究所)では、特別支援教育における ICF 及び ICF-CY(以下、ICF/ICF-CY) 活用を支えるための具体的な手立ての開発と実証・改善に取り組んできた。ここでは、それらの開発経過や調査及び教育実践での活用を通じた検証結果について紹介し、今後の特別支援教育における ICF/ICF-CY 活用を支える手立ての在り方について検討をすることにした。

### 【各話題提供の要旨】

徳永は、特別支援教育における ICF/ICF-CY 活用に関する同研究所での研究概要や経過、活用を支える手立ての概要について紹介した。松村は、各学校での教育活動での活用に直接資することを目的とした「活用支援電子化ツール」の開発と改善の経過について紹介した。金子は、間接的な支援ツールとして Web ツールである「活用事例文献データベース」及び「特別支援教育における ICF/ICF-CY 活用に関するよくある質問と答え」の開発と実証・改善の経過についてそれぞれ報告した。溝端は、活用の方向性を検討するためのツール「ICF/ICF-CY 活用手順」の中核となる教育課題把握チェックリスト等の開発経過及び教育実践の中での実証結果、さらに「教育相談等での主訴に基づいた ICF 関連図作成手順」の開発経過について報告した。二階堂は、「全体的な実態把握から生活全般での課題設定と各授業での指導課題等の検討のための ICF 関連図作成手順」の教育実践を通じた実証結果について紹介した。

### 【指定討論及びフロアを交えた議論】

齊藤は、活用の理由や目的を確認し、ICF/ICF-CY ありきにならないような配慮が重要とした上で、生徒自身が活用する実践例を紹介した。その上で、ツールありきにならないための工夫点について各話題提供者に質問した。

松村は、「電子化ツール」は、関連図作成等が自動化されているものではなく、あくまでも使うものであって全てをまかなうものではないと述べた。溝端は、目的があってツールを使うのが大事ではあるが、現場としては使いながら、ICF/ICF-CY の活用について知っていくことも実際的であると、目的を確認した上で使い方を紹介するという配慮について述べた。二階堂は、「理念はわかるがどう使えばよいかわからない」教職員にとってツールは効果的だとし、ツールがあることで観点や目的がはっきりして良いようだと述べた。金子は、「FAQ」については、基本的な理解をしたいのか、念のために確認したいのか

等、活用目的を確認して使ってほしいと述べ、また「データベース」の各事例には活用の背景の記載があるので参考にしてほしいと述べた。徳永は、「ICF/ICF-CY 活用手順」を取り上げ、ICF/ICF-CY 活用に興味を持っている学校等のためのものであるものの、活用ありきとしているのではなく、まずは学校等の状況を整理し、活用が適切かどうかを判断し、目的に応じた活用を促進するためのツールとして開発した、と述べた。

続けてフロアとの活発な議論があったが、ここでは 2 点のみ報告する。まず、発達検査等の子どもに関する情報の押さえ方についての質問に対し、齊藤他から、関連図の作成を通して、検査結果を含めた点在している情報を図式化し、関連が見えるように情報を総括する等、学校現場での工夫について回答があった。同じく徳永は、教職員の負担荷重にならないことが重要であり、そのための工夫として、「教育相談対応関連図作成手順」中の発達検査結果情報の位置づけ等を整理した図について紹介した。次に、小・中学校教職員等への説明等の工夫についての質問に対し、齊藤からはセンター的機能を担当した者として、ICF/ICF-CY は障害のある人のものではないことから小学生にも理解してほしいものであり、障害名等がある際にのみに活用するのではなく、調子が悪い時等に自分の状況を整理する例について紹介があった。同じく徳永からは、学習指導要領等解説書の記述からは ICF/ICF-CY 活用は特別支援教育全体にかかるものであり、幼・小・中・高全体にもかかわるものとして整理されること、センター的機能等でとかわる際は、特別支援学校と異なる小・中学校の実情を踏まえて話を進めることが重要であること等について述べた。

本シンポジウム全体を通して、特別支援教育における ICF/ICF-CY 活用を支える手立ての必要性と実証・改善の重要性とが確認された。